

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回社会教育委員会議
開催日時	令和4年8月23日(火)午後1時30分から午後2時55分まで
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室C
委員長等氏名	社会教育委員会議 委員長 川端富士夫
出席者氏名 (委員)	川端富士夫、三田広己、田口香代子、小代元志、片岡昭博、板橋哲、駒沢久子、稲垣茂、萩原久美子
欠席者氏名 (委員)	金子秀一、伊藤裕泰、山寄厚
事務局	鎌田課長、高屋課長、吉田主幹、木内主事、小室主事、向後主事補
説明のため 出席した者	なし
議 事	(1) 令和3年度市民大学講座の報告について (2) 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について (3) 戸田市版生涯学習記録ツール(案)について
会議結果	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<p>次第・資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題1・参考資料 令和3年度市民大学講座の報告について</li> <li>・資料1 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況</li> <li>・資料2 基本方針1 新たな自分に出会う～学びのキッカケづくり～</li> <li>・資料3 基本方針2 人生100年時代を豊かに生きる～ライフステージや多様な市民ニーズに応じた学びの提供～</li> <li>・資料4 基本方針3 まちを元気に～学びの成果の活用と交流の仕組みづくり～</li> <li>・資料5 「学び直し」の促進に向けた学習記録ツールの作成について</li> <li>・資料6 (仮)自己分析シート</li> <li>・資料7 学びの記録</li> </ul>
議事録確定	令和4年9月9日 社会教育委員会議 委員長 川端 富士夫

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会/午後1時30分 事前配布資料(資料1～資料7)の確認。 今年度新規で社会教育委員を委嘱する委員へ教育部長から委嘱状を交付する。それに先立ち、教育部長からあいさつ申し上げる。</p> <p>(教育部長あいさつ)</p>
事務局	<p>続いて、委嘱状の交付に入る。</p> <p>(委嘱状交付)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで公務の都合で、教育部長は退席とする。</p> <p>続いて、自己紹介に入る。</p> <p>令和2年度以来の対面開催であるため、社会教育委員の皆様から自己紹介をお願いしたい。</p> <p>(委員自己紹介)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、事務局職員の紹介をする。</p> <p>(事務局自己紹介)</p>
事務局	<p>つづいて、委員長より開会の挨拶を頂戴する。</p> <p>(委員長挨拶)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここから「次第4」議事に入る。議事の進行については、「戸田市社会教育委員の会議に関する規則」第3条第3項に基づき、委員長にお願いする。</p> <p>※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。</p>

委員長	資料に基づき議事(1)令和3年度市民大学講座の報告について、事務局から説明願いたい。
事務局	<p>(1) 令和3年度市民大学講座の報告について</p> <p>議題1・参考資料に基づき、事務局から説明。</p> <p>概要：令和3年度市民大学の取り組み成果（学習機会の保証、受講者の年齢層の多様化）及び令和4年度の取組(講座の対面・オンラインによるハイブリット開催、情報の周知方法の工夫)</p>
委員長	<p>議事(1)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p> <p>若年層の方は情報機器やアプリなどを使い慣れた人が多く、気軽にオンラインでの講座に参加できると思われるが、情報機器への馴染みが少ない高齢者へのサポートはしているか。</p>
事務局	<p>令和4年度の講座は、原則会場受講の講座とオンデマンド受講を併用する方法で開催していく。情報機器等を使用したことが無い人や苦手な人に関しては、会場での受講も案内している。今後オンデマンド開催を進めていくうえで、デジタルデバイドや情報格差の面に関しても、生涯学習課でより一層配慮に努めていく。</p>
委員長	<p>高齢の方も、自らが情報機器やオンラインに触れることに慣れるよう、努めることが大切だ。</p> <p>他に意見・質問はあるか。</p>
副委員長	<p>対面式の講座は基本であり、とても大事な受講方法だ。講師と参加者が顔を合わせる、アイコンタクトや質疑応答のやり取りがあるなど、対面ならではの緊張感がある。この点がオンライン・オンデマンド配信とは異なる良さだ。コロナウイルスの感染が拡大している現状、オンライン・オンデマンド配信に力が入るが、対面開催の良さも残して欲しい。</p> <p>コロナ禍でインターネットを活用した講座を積極的に行い、学びの機会を提供していることは、とても素晴らしい取組だと受講者の一人である私も感じている。生涯学習課の取組に感心している。これからもオンデマンドと対面それぞれの良さを残した講座を運営して欲しい。</p>

事務局	<p>対面式の講座は原則的なものであるから、これからも引き続き残していく。</p> <p>令和3年度からオンライン・オンデマンド配信を導入してきたが、いつでもどこでも受講が出来、自分のライフスタイルに合わせて学べる事が最大のメリットである。この点がニーズに合致したようで、若年層の受講者の増加という結果につながったと我々としては考えている。</p> <p>一方でオンラインは高齢の方には受講ハードルが高いというご指摘もあったが、オンライン・オンデマンド受講申込の実績を見ると、高齢の方々の申込も増えている。</p> <p>情報機器になじみが無い方に向けては、チラシによるオンデマンド受講方法の周知や、公民館での機器関係のサポート講座などを実施している。多くの方が配信型式の受講出来るよう、引き続きサポートを続けていく。</p> <p>いつでも好きな時に講座を受講出来るオンデマンドの仕組みは今後とも展開していき、受講者の学びを促進していく。</p>
委員長	<p>他に何か質問はあるか。</p> <p>(意見及び質問なし)</p>
委員長	<p>続いて、資料に基づき議事(2)第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について、事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>(2) 第5次戸田市生涯学習推進計画進捗状況について</p> <p>資料1～4に基づき、事務局から説明。</p> <p>概要:令和3年度から施行された第5次戸田市生涯学習推進計画の進捗はほぼ目標どおり進行している旨報告</p>
委員長	<p>議事(2)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p> <p>「C」(実施をしたが目標を下回った)と評価された理由は、コロナの影響がやはり強いのか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、コロナの影響で、規模を縮小して開催した事業が散見された。コロナ禍以前の規模感で開催するのが難しかったことが低い評価が付いた理由の一つとして挙げられる。</p>

委員長	コロナがなければほぼ達成が出来たということか。
事務局	そのように考えている。
委員長	今回は中間報告か。
事務局	毎年度各課で一年間の取り組みを自己評価、検証して、必要に応じて改善をしながら令和7年度の最終目標に向かって進めていく。 生涯学習課は計画の進捗管理をし、来年度以降も社会教育委員会議の場で報告をしていく。
副委員長	A と評価を回答している課はおおむね達成していると判断、C・D等は達成できなかったと判断しているが、C・Dの判断をしている課は改善策を検討していくべきだ。来年度の事業達成に向けての改善策は考えているか。
事務局	低い評価をした課の多くは、コロナの影響で講座が十分に運営できなかったようだ。スポーツのイベントなど、対面以外で実施することが困難な事業もみられる。コロナの感染拡大がなければコロナ禍以前のように事業を予定どおり実施できたと考えられる。 一方で、対面の代わりにオンライン、オンデマンドやその他の方法で開催したいが、実績やノウハウがなく、つまずいている課も見受けられる。生涯学習課がサポートをしたり、好事例を共有するなど連携して事業の実施を進めていきたい。 また、生涯学習課では、市民大学の講座運営に関するマニュアルを作成しており、必要に応じて各課へ共有している。そちらを参考にしながら進めてもらうことも想定している。
委員長	目標が数値で設定されており、実績が目標値に達していないため、低く評価をしているケースがある。進捗状況の評価を低く判断するのは仕方がないことだが、達成の数字に満たなくても内容が充実していれば、評価は高くても良いのではないかと思う。
委員長	他に何か質問はあるか。

	(意見及び質問なし)
委員長	続いて、資料（3）戸田市版生涯学習記録ツール（案）について、事務局より説明願いたい。
事務局	（3）戸田市版生涯学習記録ツール(案)について 資料5～7に基づき、事務局から説明。 概要：学習過程や成果を記録・集積し、自己学習力を高めるためのツールである「戸田市版生涯学習記録ツール」の令和5年度の運用開始に向け、事務局案及びスケジュールを提示。
委員長	議事（3）について、委員の方から何かご意見・ご質問はあるか。 「戸田市版生涯学習記録ツール」は、令和5年度から資料6・7の様式で実施するという解釈で良いか。
事務局	資料6・7を使って令和5年度から運用する予定である。今回の会議でいただいたご意見をふまえて再検討し、第2回の会議で改めてご審議いただきたい。
委員長	他に何か質問はあるか。
委員	資料の中には、学習記録に関する似たような言葉が多用されている（学習記録・学習歴・学習記録・学びの記録等）。言葉の定義はあるか。もし意図的に使い分けていないのなら、一つの単語あるいは何か特定の言葉で統一したほうが利用者側から見たらわかりやすいのかもしれない。
事務局	学習記録に関する言葉はこれから定義をする予定である。市民の方にとってわかりやすく、手に取りやすい言葉を使っていきたい。 現状では、「学習履歴」は今作成している「学習記録ツール」に関する概念的な説明をする際に使っている。一方で「学習記録」は内容がイメージ

	<p>しやすくわかりやすい言葉だと考えている。そのような観点で考えると、「履歴」より「記録」の方が伝わりやすいと考える。</p>
委員	<p>これはホームページから個々人でダウンロードして使用してもらうのか。ホームページ上に自分専用のフォルダ等を作って書き込んでいき、いつでも閲覧できるものか。</p>
事務局	<p>生涯学習は、自分の意志や意欲によって行ってもらうものであるため、必要な人が必要な時にホームページから自由にダウンロードしてもらう運用を考えている。</p>
委員	<p>他人が作成した記録は見られるか。</p>
事務局	<p>個人情報観点からも、現時点では他人の情報の閲覧は考えていない。</p>
委員長	<p>有効な活用ができれば良い。学習の記録を長年蓄積させ、実際に振り返るかどうかが疑問だ。記録を自分の中で温めるだけでなく、他の人の目に入るような工夫をした記録帳ならば、市民大学をあまり知らない人たちも興味をもつのではないか。</p>
委員	<p>学校現場では、子どもたちに何か意欲づける時に達成度を視覚的に見えるよう工夫したコンテンツを用意している。例えば、10個ある課題を視覚的に表し、課題を進める毎に色を塗りつぶさせるなどして、達成度・到達度を一目でわかるように工夫している。一例ではあるが、自分がどこまで達成したかがわかるようなものを用意するのが良いと考える。</p>
委員長	<p>他に何か質問はあるか。</p>
副委員長	<p>良い記録簿だと思う。</p> <p>しかし受講者側はやりましようと言われても、意欲づけが難しいと思う。例えば、記録者が目標を達成した際に、興味のある講義を大学で聴講できる「パスポート」のようなものを交付するなど、特典を設けることで参加を呼び掛けることも一つの方策と考える。</p>

事務局	<p>多くの人の利用に向けて、検討したい。市民大学では、45単位取得した受講者に、修了証を市長から直接授与している。さらに、大学や講座の受講料を補助する補助制度を設けている。先ほど意見があった学習実績が目に見える仕組みなど、皆様からの意見を参考にしながら検討していく。</p> <p>令和5年度に実施した際、改善する点も出てくるだろうから、研究と工夫を重ねていく。</p>
副委員長	<p>モチベーションにつながるものを是非考えていってほしい。</p>
委員長	<p>私は、読んでいる本の情報（題名、著者、気に入ったフレーズなど）を自分のスマートフォンに記録している。そうすることで、人と会話する際にオススメしたかった本の情報を確認しやすい。学習記録ツールが身近なツールになれば、身近な話を受講者同士でするときに役立つと思う。</p>
委員長	<p>他に何か質問はあるか。</p> <p>(意見及び質問なし)</p>
委員長	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>5 閉会</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>令和4年度第1回戸田市社会教育委員会議を終了する。</p> <p>閉会／午後2時55分</p>